

7 議 委 第 3 8 号  
令和 7 年 9 月 4 日

南会津町議会  
議長 山 内 政 様

南会津町議会広報委員会  
委員長 芳賀 正義

## 委員会調査（行政視察）報告書

本委員会所管事務調査事件について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第 7 7 条の規定により報告します。

# 議会広報委員会行政視察報告書

1 調査事件 議会だより・議会広報について

2 調査日時 令和7年8月29日（金） 10：00～11：40

3 調査場所 東京都台東区議会

4 調査の出席者

◎ 南会津町議会広報委員会

委員長 芳賀 正義、 副委員長 星 和孝、 委員 酒井 幸司、  
委員 湯田 剛正、 委員 古川 晃、 委員 渡部 裕太  
随行者 議会事務局主事 渡部 龍人

◎ 東京都台東区議会 関係者

台東区議会	副議長	岡田 勇一郎
台東区議会事務局	次長	櫻井 敬子
台東区議会事務局	議事調査係長	吉田 裕麻
台東区議会事務局	議会担当係長	女部田 孝史
台東区議会事務局	議事調査係	遠藤 花菜

5 調査目的

議会だよりの紙面形態と発行、広報委員の作業、議会広報の在り方を調査するため。

6 事前質問事項

（１）議会だよりについて

- ・ 広報手段は（紙面、SNS等）
- ・ 発行までの広報委員の従事は（調査・整理、内容構成、デザイン・レイアウト、製本）
- ・ 工夫点、作成で意識していることは

（２）議会広報について

- ・ 議会広報の在り方は
- ・ 議会開会の周知方法は

（３）その他

- ・ 議会傍聴者を増やす方策は
- ・ 議会と住民との接点について（議会報告会、懇談会等）

7 質問事項の回答

（１）議会だよりについて

- ・広報手段（紙面、SNS等）は

回答…タブロイド判2つ折りで定例会号4回、新春特集号1回で年5回。

他電子メール、台東区公式X活用広報、LINE（手話通訳の案内）を活用。

- ・発行までの広報委員の従事は（調査・整理、内容構成、デザイン・レイアウト、製本）

回答…定例会初日と最終日の2回の委員会で作成案を確認。紙面構成案は事務局作成。

- ・工夫点、作成で意識していることは

回答…紙面の改善と横書きへの変更等の経過の他、常に紙面のインパクトと手にとってもらえる広報をめざす。

## （２）議会広報について

- ・議会広報の在り方については

回答…紙面作成のポイントとして判読性（視認性）と情報量のバランスが大切、SNS等の活用。

- ・議会開会の周知方法は

回答…紙面はなく議会HP、電子メールを活用（たいとうメールマガジンによる広報、台東区公式X（旧Twitter）広報、台東区公式LINEで発信周知されている。

## （３）その他

- ・議会傍聴者を増やすには

回答…SNS等を活用していきたい。

- ・議会と住民との接点について（議会報告会、懇談会等）

回答…議会報告会は町会連合会との対話懇談会（年1回開催）、区議会の取り組みの報告、意見交換を実施している。

## ○議会広報のまとめ

設置要綱の目的を果たすためには、総合的なアプローチが求められ、①多様な媒体による情報発信②アクセシビリティの向上③分かりやすい情報発信④関心を持つきっかけ作り、が示されました。

## ８ 所 見

友好都市での繋がりもあり、当町と規模が違う都市部の行政視察となりましたが、特に広報紙のペーパーレスと最先端の広報づくりの調査を念頭に調査を実施しました。

調査の結果では、紙面による「議会だより」発行は無くすことなく、印刷版を改良してのタブロイド判2つ折りで発行されています。広報広聴手段としてはSNS等を活用して積極的な情報発信をしておりますが、都市部のコミュニティ環境の複雑化による運営の難しさも感じられました。特に参考となる件は、目の不自由な方の声の区議会

だより(デイジー版)の作成とSNS等を活用した発信に手話通訳を取り入れています。議会DX化も進んで平成31年から議員へのタブレット貸与、議会のペーパーレス化で資源と経費の削減と効率化に努めています。今回の研修のまとめとしては、研修最後のまとめとして示された「議会広報のまとめ」の総合的アプローチを参考に委員会で研修し、より良い「議会だより」に研鑽して参りたいと思います。



台東区議会副議長 岡田 勇一郎 氏 歓迎の挨拶



芳賀議会広報委員長 開会挨拶



説明の様子



星議会広報副委員長 閉会挨拶



集合写真